

平成31年度 滝野中学校学校経営方針

加東の教育 「人間力の育成」

—学びから新しい自分づくりと地域づくりをめざす加東市に！—

校訓 「自律」「友愛」「努力」

学校教育目標 『自ら学び考え、豊かな心をもった生徒の育成』
— いどむ つながる きりひろく —

めざす学校の姿

- 生きてはたらく学力を育てる学校
- 学習環境が整備され、居場所のある学校
- 家庭・地域から信頼され連携・協働する学校

めざす生徒の姿

- 自ら考え、主体的に判断し、学び続ける生徒
- チャレンジ精神をもち、自分を表現する生徒
- 自分を大切にし、他を思いやり、助け合う生徒

めざす教師の姿

- 教育に対する情熱を持ち、生徒を尊敬し、学び続ける教師
- お互いに認め支え合い、粘り強くチームで対応する教師
- 誠実・感謝・共生を自らの姿と行動で示す教師

1 生きてはたらく学力の向上を図る。

- 生徒が見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげようとする授業を実施する。(目標: 3.5)
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。(目標: 3.5)
- 学習の手引き等を活用して、授業と結びつけた家庭学習の充実を図る。(目標: 3.0)

2 他を思いやり、互いに高め合う心を育てる。

- 系統的なキャリア教育を計画し、体験活動及び事前・事後指導を充実させ、達成感や自己有用感を高める。(目標: 3.6)
- ローテーション授業等を通して「考える・議論する」道徳の授業(公開)や道徳教育副読本を活用した親子読書を年間2回以上実施する。(目標: 3.6)
- 貯本通帳を活用して、PTAと連携した「家読書」を推進する。(目標: 3.4)

3 健康な心身を育て、安全に対する意識を高める。

- 前年度の新体力テストの分析結果に基づく体力づくりや部活動を通して、体力・運動能力の向上に努める。(目標: 3.6)
- 毎月フリーカードを実施したり、年間2回以上の教育相談の時間を確保したりする。
- 危険箇所の把握等、学期に1回以上の安全点検を実施する。

4 小中9年間を見通した学びのつながりを図る。

- 「話すこと・聞くこと」に着目した授業づくり(指導計画)を再検討する。
- 小中学校間において、計画的な相互授業参観を実施する。(目標: 2.9)

5 心通う集団づくりをめざして、積極的な生徒指導を推進する。

- SCやSSWを含め校内生徒支援体制を充実させ、福祉・医療機関等と積極的な行動連携を図ることで、不登校生徒を減少させる。(目標: 不登校生徒1.5%未満)
- QUテスト等を活用して、生徒の内面理解に努め、構成的グループ・エンカウンター等を活用した人間関係づくりを計画的に行う。(目標: 3.6)
- ネットトラブル等の人権課題を克服するため、生徒会が主体となって作成した市内統一のネット・SNS利用規約の遵守を徹底する。(目標: 3.5)

6 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な特別支援教育を推進する。

- 個別の指導計画に基づき、共通理解を図り、きめ細かく適切な支援を行う。(目標: 3.5)
- 交流学級や他校生徒との交流及び共同学習を年間5回以上実施する。
- 加東市発達サポートセンター「はぴあ」と連携してデリコラ(巡回相談)等を活用して、切れ目のない生徒支援・家庭支援を行う。(目標: 3.4)

7 教職員が心身ともに健康で、働きやすい職場環境づくりを進める。

- 生徒と向き合う時間をできるだけ多く確保する。(目標: 3.3)
- 毎週1回の「定時退勤日」を保護者等へ周知するとともに、教職員の共通理解のもと、確実な実施を推進する。(目標: 年間95%以上の実施)
- 練習計画表を校内に掲示することで、生徒や教職員に周知を図り、「ノ一部活デー」を確実に実施する。(目標: 3.8)

※目標は、生徒、保護者、教職員の評価値(4件法、平均2.5点)を示す